

平瀨作五郎著

指要
解說
和學畫本第一

發兌書肆 敬業社

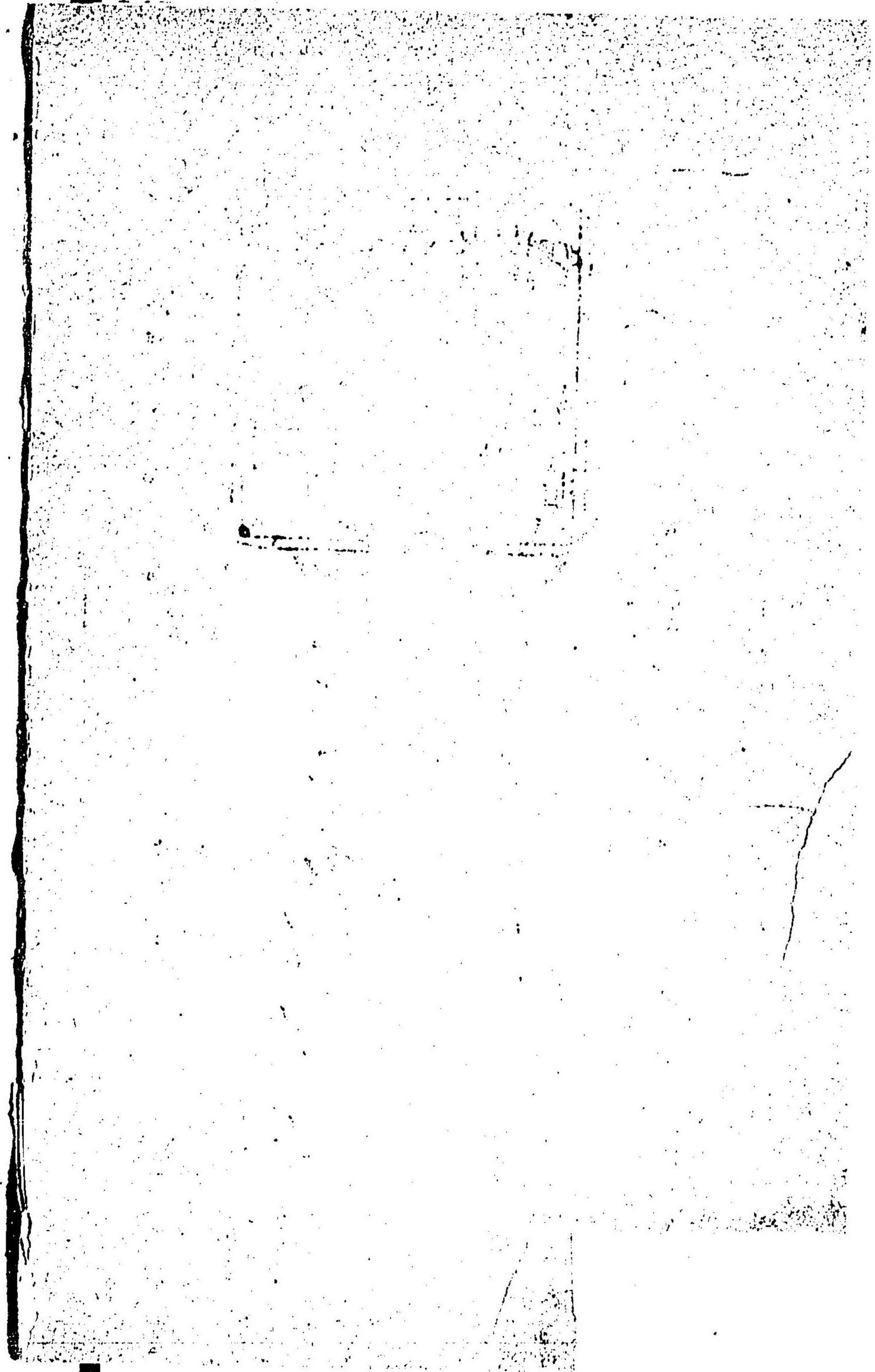
No. 16417

平瀨作五郎著



指要
解說
和學畫本第一

發兌書肆 敬業社



繪心書傳 卷之七

新編 繪心書傳 卷之七 平瀨作五郎著

提要 初學 畫本 第一

平瀨作五郎 著



特51
 Instrumental drawing
 Free-hand drawing
 〇 畫法ヲ大別シテ二トナシ、其一ヲ用器畫法ト云ヒ、其二ヲ自在畫法ト云フ、凡ソ器械、家屋及ビ紋畫等ノ整正ナル圖ハ規矩ノ効用ヲ借り、幾何學的ノ法式ニヨリテ精密ニ畫カザルベカラズ、是即チ用器畫法ニ屬シ、天然ノ風景及ビ動、植物ニ手腕ノ熟練ニヨリテ畫カザルベカラズ、是即チ自在畫法ニ屬ス、而シテ此書ハ專ラ自在畫法ヲ學バントスル初學者ノ便ニ供スルモノナリ、然レモ練習ヲ初ムルニハ先ツ直線形或ハ直線ト弧トノ雜線形ヲ以テシ、漸次定形

(3) Copying drawing.

ナキ曲線形ニ進ムヲ便宜トス、故ニ整齊ナル直線形又ハ雜
線形ヲ以テ始ムト雖也其主意ハ用器畫法ニ於テ要スル處
ト異ナルヲ以テ描線ハ定規ニヨリテ畫キタルガ如クナル
ヲ要セズ、只筆力強健ニシテ形態整然ナラント主トスベ
キナリ

○ 圖畫術ヲ學ブ者ハ勉メテ心、手、目、三ツノ者ヲ訓練セシ
ヲ要ス、何トナレバ畫學ノ主旨トスル處ハ天然ノ諸物ヲ自
在ニ描寫シ、或ハ吾心裏ニ生ジタル形態ヲ隨意ニ畫キ現ハ
サント期スルニ在レバナリ、若シ其一ニシテ未熟ナルハ
ハ此主旨ヲ達セント欲スト雖也得可ラズ、今左ニ訓練スベ
キ方法ヲ略説セン

○³ 臨畫 圖本ヲ模寫スルヲ臨畫ト云フ、畫術練習ノ一方

(4) Sketching from nature.

便ナリ、故ニ其本ニ臨メバ、先ツ其形狀如何ナルモノナルガ
ヲ辨識シ、又其法則ニ關係スル處ヲ推考シ、而シテ大小、遠近ノ
鈞合、運筆及ビ濃淡ノ配置等ヲ吟味シ、一々之ヲ腦底ニ納メ、
筆ヲ下スニ方リテハ更ニ自ラ畫キ形ハス精神ニテ描クベ
シ、若シ然ラズシテ慢リニ原圖ヲ模擬スルニ止ラバ遂ニ練
習ノ主旨ヲ失フベシ、又臨畫ハ原圖ト同大ニ畫カントヲ要
ス、時ニ或ハ原圖ヨリモ郭大シ、或ハ縮寫スルヲ學ブベシ、
是大小、長短等ノ割合ヲ視別スルヲ練習トシテ肝要ナル
業ナリ

○⁴ 見取畫 實物ヲ見、其自然ノ具形ヲ描寫スル義ナリ(一ニ
寫生トモ云フ)畫術ノ練習ニハ欠ク可ラザル課業ナリ、見取
スルニ臨ミテハ靜座シテ體ヲ正直ニ構へ、頭ヲ動かサズ、唯

瞳子ノ働キニヨリテ物ト畫紙トヲ見得ルヨウニナシ、サテ
 物体各部ノ線ハ法則ニ照セバ如何ナル關係アリヤ、一々詳
 ラカニ探究シテ視察ヲ補助シ、其長短廣狹等ヲ精密ニ比較
 シテ(目分量)其眞形ヲ描寫スベシ

○想像畫トハ豫メ題ヲ設ケ、已ニ學ヒタル法則ヲ推考シ、實
 物ヲ見ズシテ其適正ナル圖ヲ畫キ表ハスヲ云フ(例へバ八
 角形ノ「イソキ」壺ノ透視圖ヲ畫ケト題シ、其透視圖ニ係ル法
 則ヲ思考シテ適當ナル圖ヲ畫クガ如シ)此方法ハ畫法ヲ練
 習スルニ最モ利益アリ、何トナレバ一線、一畫モ皆腦裏ヨリ
 出ヅルモノニシテ再三熟考セザレバ筆ヲ下スヲ能ハザレ
 バナリ

○此他開書(書取ノ如シ)要訂畫(題畫中ノ不正ナル部分ヲ訂
 正シテ畫クヲ云フ)等ヲ以テ練習スルヲ可トス

○已ニ掲ケタル方法ニヨリテ練習スルニ便利ナル用具ハ
 鉛筆及ビ畫筆トス、其鉛筆ニテ畫ケルモノヲ鉛筆畫ト云ヒ、
 畫筆ニテ畫ケルモノヲ筆畫ト云フ、但シ此書ニハ筆畫ノ臨
 本ヲ掲ケズ、是レ筆畫ノ畫法ハ鉛筆畫ニ異ナルヲナク、只用
 具ヲ易フル迄ナレバナリ、其用具及ビ用法ヲ左ニ示サン

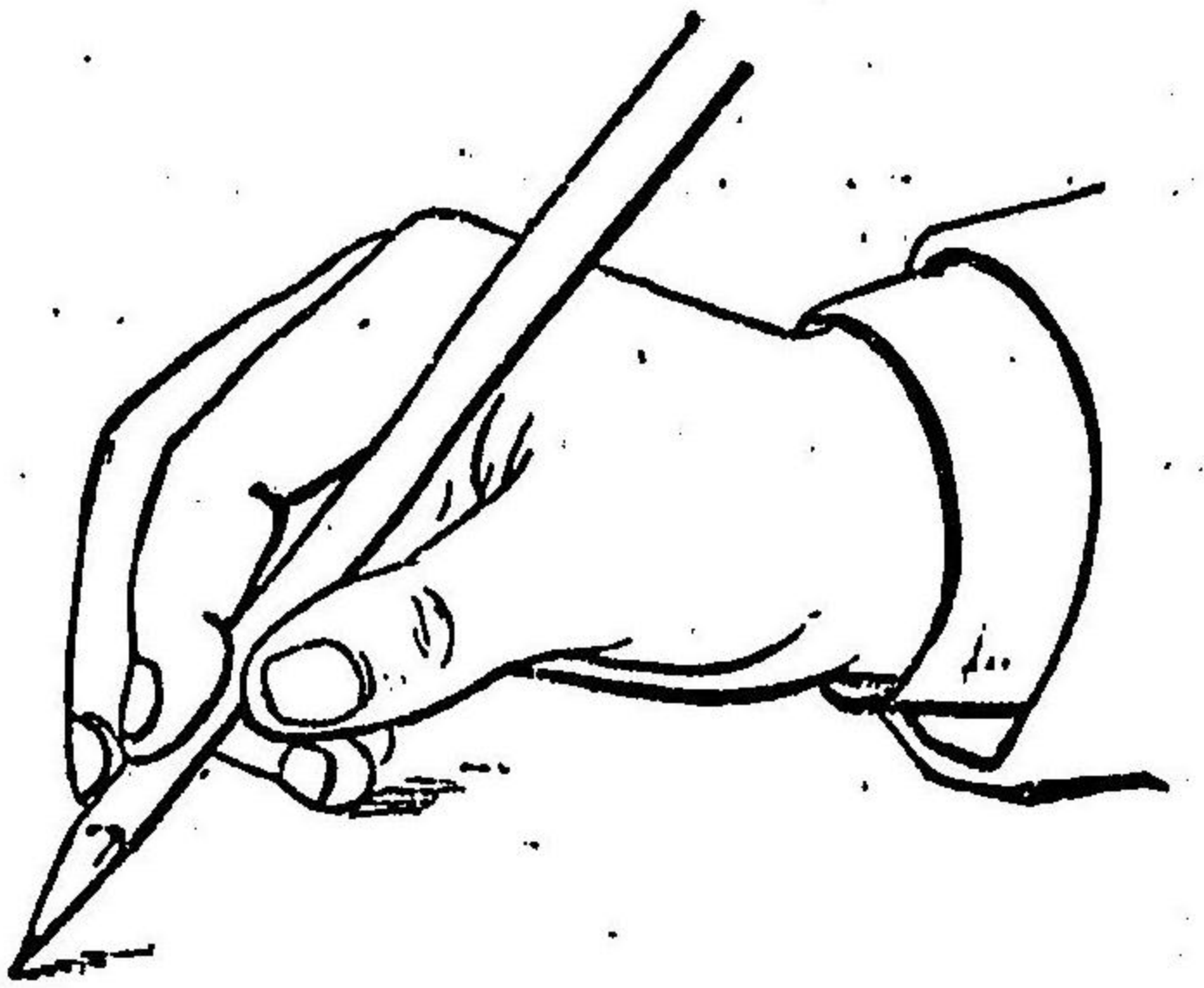
○鉛筆ニ數種アレモH、B、及ビBB記號アル三種ヲ宜シトス
 其H號ハ質硬キガ故ニ淡キ線ヲ引クニ宜シク、B號ハ柔キ
 ガ故ニ濃キ線ヲ引クニ宜シトス、而シテBB號ハB號ヨリモ尙
 ホ柔キガ故ニ最モ濃キ線ヲ引クニ適セリ、此他尙ホ種類多
 シ、各硬、軟ノ度ニ從ヒテ使用スル處ヲ撰別セバ自然ニ淡濃
 ノ鮮明ナルヲ得ベレ、而シテ鉛筆ハ脆ク折レ易スケレバ、ア

(1)India-rubber.

マリ細ク削ルベカラス、自然ニ生シタル角ヲ以テ細キ線ヲ引キ、其平ヲカナル所ニテ太キ線ヲ引クベシ
○畫紙ハ面ノ粗ナル西洋紙ヲ撰ビ用フベシ、其光澤アルモノハ鉛筆滑リテ宜シカラズ

○此他鉛筆ヲ削ル小刀及ビ柔ヲカナル¹ニ用意スベシ、其心ハ助線ナトヲ拭ヒ消スニ用フルモノナリ、之ヲ以テ強ク紙面ヲ擦スレバ汚損スベシ、決レテ濃線ヲ消サントスルコ勿レ、又最初單純ナル線、形ナトヲ習フ間ニハ用ヒザルヲ可トス

○鉛筆ノ持方ハ拇ト中指トニテ挾ミ、食指ヲ其間ニ置キ、總指ヲ少レ屈メ、小指ヲ輕ク畫紙ニ觸レシメテ手ヲ支ヘ、腕ヲ畫紙ニ觸レシム可ラス、淡線ヲ引クニハ輕ク、濃線ハ押ヘテ



引クベシ、然レ用アマリ強ク壓ルハ運筆澁リテ筆力ヲ損スルコアルベシ、濃線ヲ引カントテ鉛筆ヲ紙ルハ宜シカラズ、此習慣ノ爲ニ後日有影畫ヲ習フニ至リテ、ハカラズ圖畫ヲ汚スコアル可ケレバナリ、始メヨリ注意シテナスベカラス

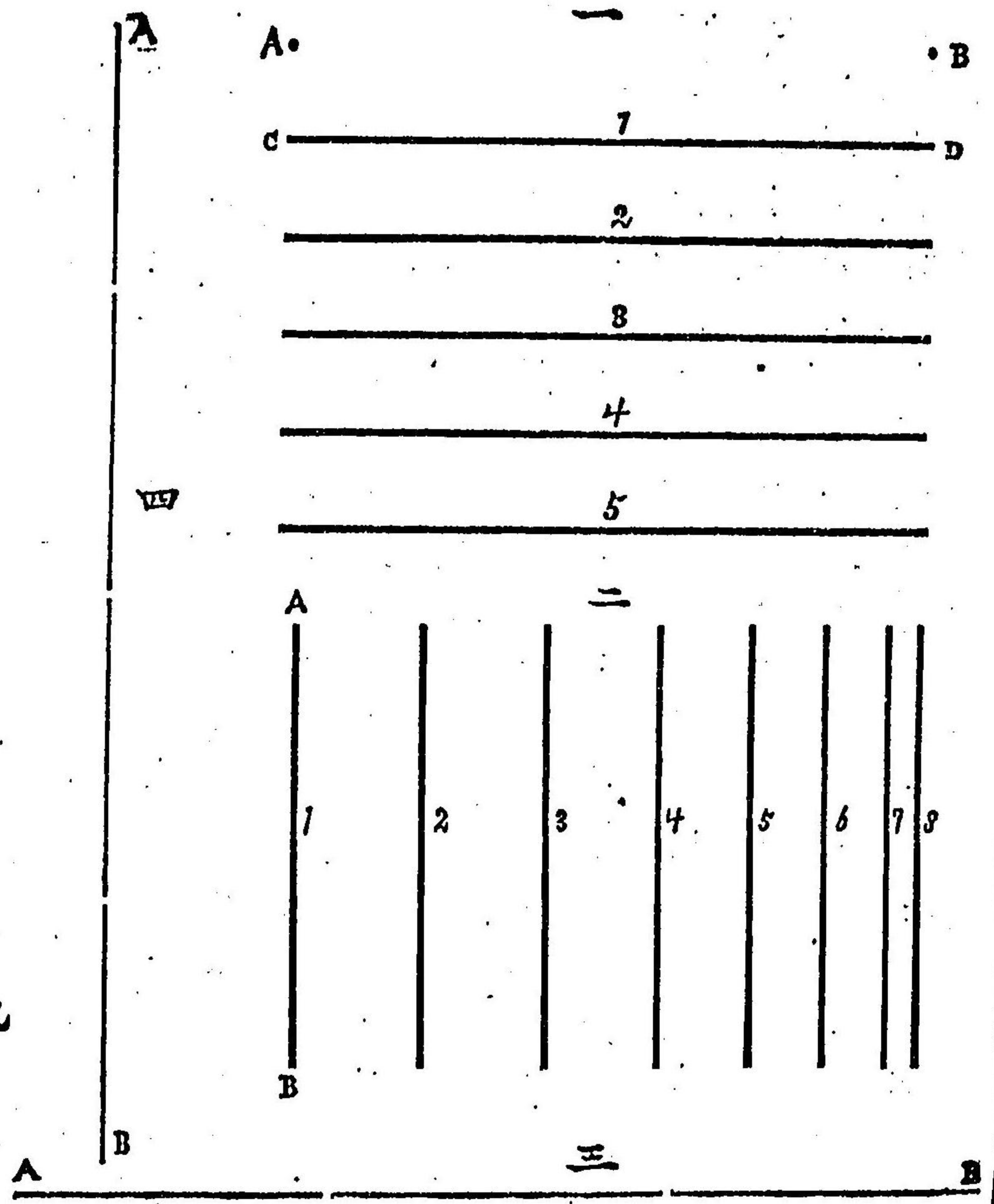
○畫紙ニ對シテハ体ヲ正直ニ構ヘ、目ハ充分畫紙ヨリ遠ザカルヲ宜シトス

○筆畫ニ用フル筆ハ勁キ細字用ノ筆ヲ能ク洗ヒテ用フベシ、充分ニ墨汁ヲ含マセ、筆尖ハ畫紙ト直角ヲナスヤウニ保チ、尖ニテ線ヲ引キ其腹ヲ紙ニ觸レシムルコ勿レ、墨ハ毎回

皿ニ摺リテ用フベシ

○第一圖ハ紙ノ天地ニ平行シタル直線ニシテ、之ヲ水平線ト云フ、其數條長サ相等シク、其平行シタル間隔モ皆相等シク、又其各條ノ兩端等シク、其直ニ並ビタリ、其畫法ハ最上ナル第一線ノ長サ及ビ位置ヲ定ムル爲メニ二小點(A、B)ノ如シヲ記シテ、其Aニ筆ヲ下シ、B點ヘ一掃ニ運筆スベシ、其太サモ成ルベク原圖ニ似ンコトヲ要ス、第二線モ亦兩端ノ位置ヲ定ムル爲メニ第一線ノ下ヘ其兩端ヲ小點ニテ記シ、第一線トノ間隔、長サ、位置等總テ原圖ニ似ル迄詳細ニ點ノ位置ヲ訂正シ、而シテ左點ヨリ右點ヘ運筆スルナリ、順次此ノ如クシテ第三、四、五線ヲ引クベシ

○第二圖ハ紙ノ左、右ノ縁ニ平行シタル直線ニシテ、之ヲ縦



線ト云フ、其數條長サ相等シク、其平行シタル間隔ハ右方ニ至ルニ從ヒテ次第ニ狹ミ、各線ノ兩端ハ一文字ニ相並ビタリ、其書法ハ先ツ第一線ノ長サ及ビ位置ヲ定ムルニ小點ヲ記シテ、其上點ヨリ下點ヘ一掃ニ運筆シ、次ニ第二線ノ長サ、位置等ヲ定ム、順次此ノ如クシテ左方ヨリ右方ノ線ヲ引クベシ

○第三圖ノ水平線ハ第一圖ノモノニ比スレバ稍長ク、又遙カニ細シ、其書法ハ前ノモノト異ナラズ唯此ノ如ク長クシテ一掃ニ引キ難キハ手腕ノ都合ニヨリ數回筆ヲ續キテ引クモ可ナリ、即チ此圖ニ痕跡ヲ存シテ示スガ如シ、然レモ餘リ短キニ過グルハ宜シトセズ、今長サ、太サ共ニ此圖ニ等シキ四條ノ平行水平線ヲ引キ試ムベシ但シ其間隔ハ第一

圖ニ等シク成サントヲ要ス

○第四圖ノ縦線ハ第二圖ノモノニ比スレバ凡ツ二倍半ノ長サアリテ、又遙カニ細シ、其書法ハ前ニ述ベタルニ同シ、今長サ、太サ共ニ此圖ニ等シキ八條ノ平行縦線ヲ引ケ、但シ其間隔ハ皆一様ナラントヲ要ス

第一版(以下皆附圖ト對照スベシ)

○一圖ハ正方形ニシテ其二邊ハ水平線、他ノ二邊ハ縦線ヲ以テ組成シタリ、此ノ如ク數線ヲ以テ組成シタル者ハ其大体ヲ略圖スル爲メニ四隅ヲ表スル小點ヲ記シ(記號ノ順序ニ)能ク其長短、大小、方向等ヲ訂正シテ后ニ左ノ上方ニ位スル線ヨリ引キ始メ、順次ニ右ノ下方ニ位スル線ヲ引クベシ(順序ハ番號ニテ示シタルガ如シ、是レ手腕描線ニ觸レテ成

畫ノ汚レシコヲ避クルガ爲メナリ、前説ニヨリテ此圖ヲ寫シ、次ニ其相對スル二角ツツヲ連綴スル處ノ直線、即チ正方形ノ對角線ヲ引ケ、但シ此ノ如キ斜線ヲ引カントスルハ其方向運筆スルニ便ナラザルコトアリ、此場合ニ於テハ先ツ兩點ヲ以テ斜線ノ方向ヲ確定シタル后、畫紙ヲ少シク轉置シテ手腕ニ究屈ヲ覺ヘザル位置ニナシテ引クベシ、又其方向ニヨリ上ヨリ下ヘ或ハ下ヨリ上ヘ引クモ各自ノ適宜ニナシテ可ナリ、サテ其兩對角線ハ互ニ中央ニ於テ交切シ、其交點ハ正方形ノ中心ヲ表シ、又此兩線ニヨリテ正方形ハ四個ノ等シキ三角形ニ分割セラルルコトヲ見ルベシ(長方形モ其位置、此圖ニ等シキハ同例ニヨリテ畫クベシ)。

○第二圖ハ相等シキ縦、横線互ニ中央ニ於テ交切シタル十字形ナリ、其畫法ハ先ツ水平線ヲ引キ、其中央ニ一小點ヲ記シテ二等分シ(目分量ニテ成ルベク精密ニナサンコトヲ要ス)、其中央ナル點〇ノ上、下ヘ二分一ノ長サヲ目安トシ各小點ヲ記シ、次ニ縦線ヲ引キテ十字形ヲ完成ス、前説ニヨリテ此十字形ヲ描寫シ、次ニ其二端ツツヲ連接スル斜線ヲ引ケ、之ニヨリテ正方形ヲ得ベシ、若シ正方形或ハ菱形等此ノ如キ位置ニアルハ皆此例ニヨリテ畫クベキナリ、又二等邊三角形ノ畫法モ前例ヲ推シテ知ラルベシ。

○第三圖ハ正八角形ヲ示ス、其對角線ノ一ハ水平線、一ハ縦線、他ノ二ハ斜線ニシテ縦、横線ノ中間ニ位ス、且ツ四線共ニ等長ナリ、サテ其畫法ハ先ツ縦、横線ニテ成ル十字形ヲ畫キ、次ニ斜十字ヲ畫クベシ(記號ノ順次ノ如シ)、而シテ其四線ノ關

係整正シテ后ニ正八角形ノ邊ヲ畫クベシ、凡ソ此ノ如キ形
 狀ヲ成スモノハ先ツ縦、横線ヲ以テ其長、廣ノ鈞合ヲ定メ、又
 其兩線ヲ基本トシ、之ニ比シテ斜線ノ傾度ヲ定ムルヲ一般
 ノ畫法トス、又此圖中ニ點線ヲ以テ示シタル諸線ハ此圖ヲ
 畫ク爲メノ助線ナレバ、成畫ノ后ハ、消除スベキモノナリ、此
 ノ如キ場合ニ於テハ其助線并ニ正八角形ノ諸邊ハ最初宛
 メテ淡ク且ツ細ク引キ、其正八角形ノ形狀已ニ完全ナルコ
 ヲ認メタル后ニ助線ヲ悉ニテ消除シ、更ニ正八角形ノ諸
 邊ヲ濃キ線ニテ引クベシ、凡ソ繁雜ナル形狀ノモノヲ畫ク
 ニハ皆此ノ例ニヨリテ畫クベシ

○第四圖ハ圓形ヲ示ス、其畫法ハ先ツ縦、横線ヲ以テ其長、廣
 ヲ定メ(圓形頗ル大ナルハ正八角形ノ畫法ニ倣ヒテ更ニ
 斜十字ヲ加フルモ可ナリ)而シテD點ヨリA點ヲ通シテE點
 ニ至リ、又D點ヨリB點ヲ通シテE點ニ至ル弧ヲ畫クベシ、半
 圓形、四分圓、又ハ弧ノ畫法モ凡テ此例ヲ推シテ知ラルベシ

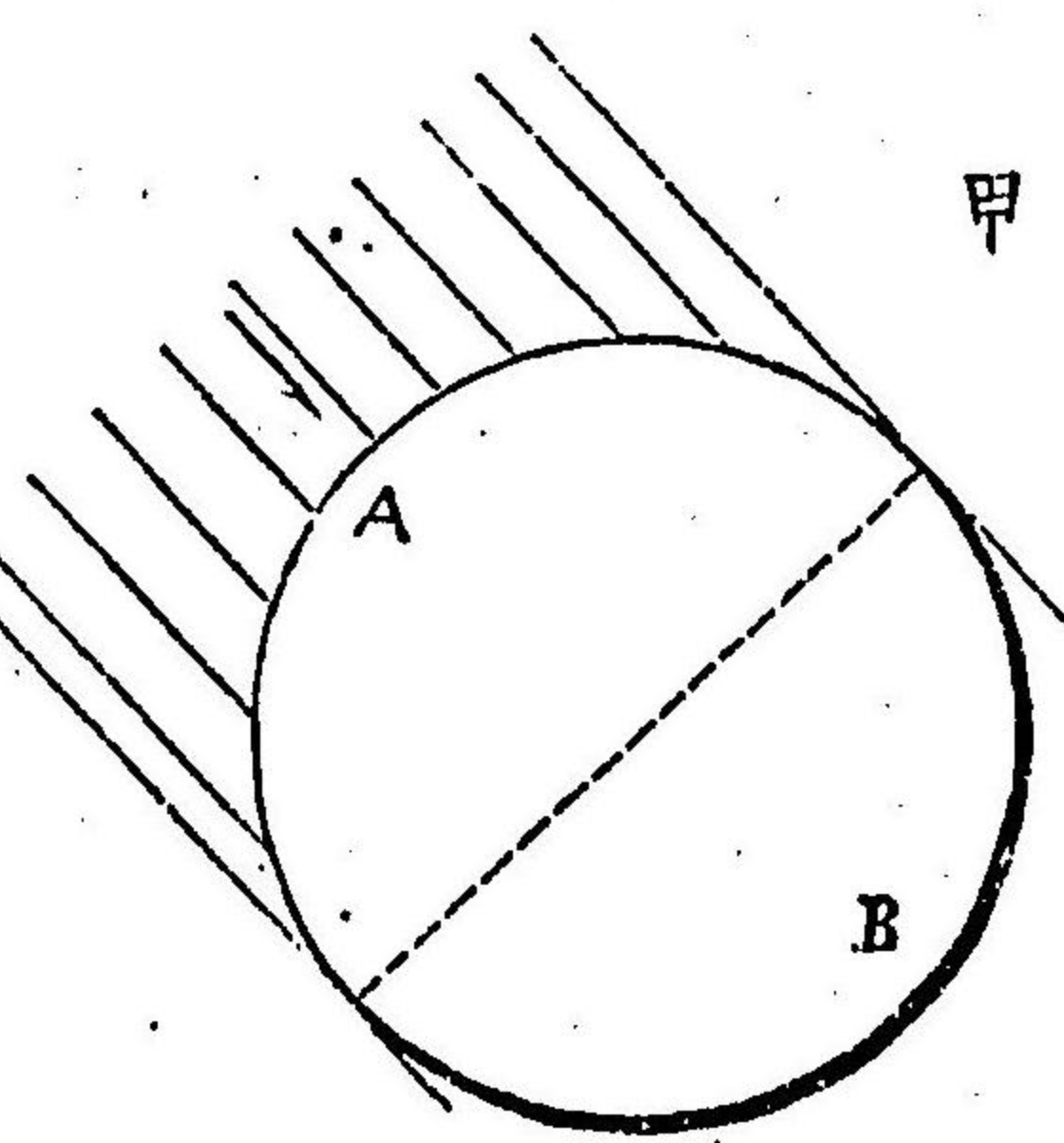
第二版

○第一圖ハ楕圓ヲ示ス、其畫法ハ先ツ十字形ヲ以テ其長、廣
 ノ均合ヲ定メ、尙ホ其兩端ツツヲ連接シテ菱形ヲ作ルベシ、
 是楕圓周ナル曲線ノ曲レル度ヲ見較ベシガ爲メナリ、次ニ
 其曲線ハA點ヨリ始メD點ヲ通シテB點ニ至リ、又A點ヨ
 リE點ヲ通シテB點ニ至ル二筆ニテ畫クベシ、此ノ如ク大
 體ヲ圖取スル際ニハ極メテ淡ク且ツ細キ線ニテ描キ、其形
 狀ノ完ク整ヒタルヲ認テ后助線ヲ悉ク消除シ、更ニ筆勢強
 キ線ヲ以テ楕圓周ヲ鮮明ニナスベシ

○第二圖ハ啞鈴ヲ示ス、之ヲ具ニツニ縦斷セバ、左、右ノ曲線ハ對等ノ形狀ヲナス、故ニ此ノ如キ物体ニ在リテハ先ツ其A、B線ヲ引キテ左、右兩曲線ノ曲レル度ヲ對照スル便ニ供シ、且ツ之ヲ以テ其長サ及ビ方向ヲ定ムルニ兼用スベシ、而シテ其兩端ナル球ハ同大ニシテ此体ノ最モ廣キ幅ハ其直徑ナリ、其次ハ握リノ中央ノ幅ニシテ、球ト握リトノ中間ハ最モ狹シ、サテ是等ノ廣狹ノ位置ヲA、B線ニ對照セハ握リノ中央ハA、B線ノ二分一ノ處ニアリ、故ニ先ツ此點ニ水平線ヲ引キテ其幅ヲ定限シ、次ニ球ノ幅ヲ表スル水平線、又次ニ最モ狹キ處ヲ表スル水平線ヲ引キテ各適當ノ長サニ成シ、而シテ先ツ左半部ノ曲線ヲ引キ、次ニ右半部ヲ引クベシ、サテ其曲線ノ左半部ハ細ク且ツ淡ク、右半部ノ者ハ太ク且ツ濃クナシタリ、是已ニ示シタルガ如キ平面形ト此ノ如キ物体トヲ區別スル爲メニ肝要ナル畫法ナリトス、其方法ハ次ニ說示セン、凡ク此形狀ニ似タル物、例ハ棍棒又ハ木葉等ノ如キ皆前例ニヨリテ畫クベシ

(3)Light-line. (2)Shade-line. (1)Outline draving.

○凡ク輪郭圖ニ於テ平面形(圓形、方形等ノ如キ長、廣アリテ厚サナキモノ)ハ一様ナル線(全体一様ニ細ク或ハ太ク)ニテ畫キ物体(長、廣、厚アルモノ)ニ在リテハ前例ニ示スガ如ク太キ線ト細キ線トヲ交ヘ畫キテ形、体ヲ區別スルモノトス、其太ク濃キ線ハ物体ノ陰ニナリタル部分ヲ表シ、之ヲ陰ノ線ト云ヒ、其細ク淡キ線ハ日向ニナリタル部分ヲ表シ、之ヲ日向ノ線ト云フ、今鉛筆ヲ具直ニ保チテ之ヲ太陽ノ光線中ニ置ケハ其一側ハ日向トナリ、之ニ反シタル一側ハ陰トナル



ベシ、又其鉛筆ヲ水平ニ保テハ上ハ日向トナリ、下ハ陰トナルベシ、而シテ大陽ノ光線ヲ畫士ノ左方ヨリ或ハ右方ヨリ取ルモ各自ノ便宜ニ任ス、但畫士ノ前面又ハ背後ヨリ取ルヲ宜シトセズ、又大陽ノ光線ハ平地ニ對シテ凡ソ四十五度ノ角度ヲナス時ヲ適當トスルヲ記臆スベシ、サレバ今球ニ於テハ甲圖ニ示ス如ク(左方ヨリ照スモノトス)平行斜線(光線ヲ代表スルモノトス)ノ圓周ニ會シタル部分(A)ハ日向ニシテ其斜線ノ圓周ニ切線ヲナシタル部分ヨリ后(B)ハ陰トナルナリ、球狀ヲナシタル菓物等ノ陰、日向ヲ判別スルニハ皆此例ニヨリテ推量スベシ

○第三圖ハ梨菓ノ略圖ヲ示ス、今此圖ヲ臨寫シ、而シテ日光左方ヨリ照ストシテ陰、日向ノ線ヲ區別シ畫ク

第三版

○第一圖ハ桑ノ葉ヲ示ス、其畫法ハ先ツ中肋ヲ引キ、之ト對照シテ其輪廓ヲ略圖シ(左半部ニ點線ヲ以テ示スガ如シ)、其形狀完整シテ后鋸齒ヲ畫クベシ、凡ソ葡萄、菊ノ葉等ノ如キ缺刻及ビ鋸齒アル者ノ畫法モ皆此例ニヨルベシ

○第二圖ハ花缺ナリ、其畫法ハ之ヲ縱斷スル處ノ縱線ヲ以テ其位置及ビ左、右對等ナル曲線ノ形狀ヲ對照スル便ニ供スルヲハ已ニ學ビタル例ニヨリテ知ルベシ、然レモ茲ニ此器具ニ限リテ殊ニ注意ヲ要スル點アリ、即チ刃尖ナルD Eノ張開ト、柄ナルF Gノ張開トノ關係是ナリ、今其正當ナル

圖ヲ畫カンニハ先ヅ縦線ヲ引キ、次ニ要釘ノ位置ヲ定メ、サ
 テ刃尖ノ張開ヲD E 水平線上ニ定限シ、其兩點ヨリ要釘ノ
 中心ヲ通シテ斜線ヲ引キ、此斜線上ニF 及ビG 點ヲ定ムベ
 キナリ、而シテ其刃ノ如キ薄ク銳キ部分ハ其趣キヲ表ハサン
 ガ爲メニ假令ヘ其位置陰ニアリトシ太キ線ニハナサズシテ、
 細ク引クモノトス

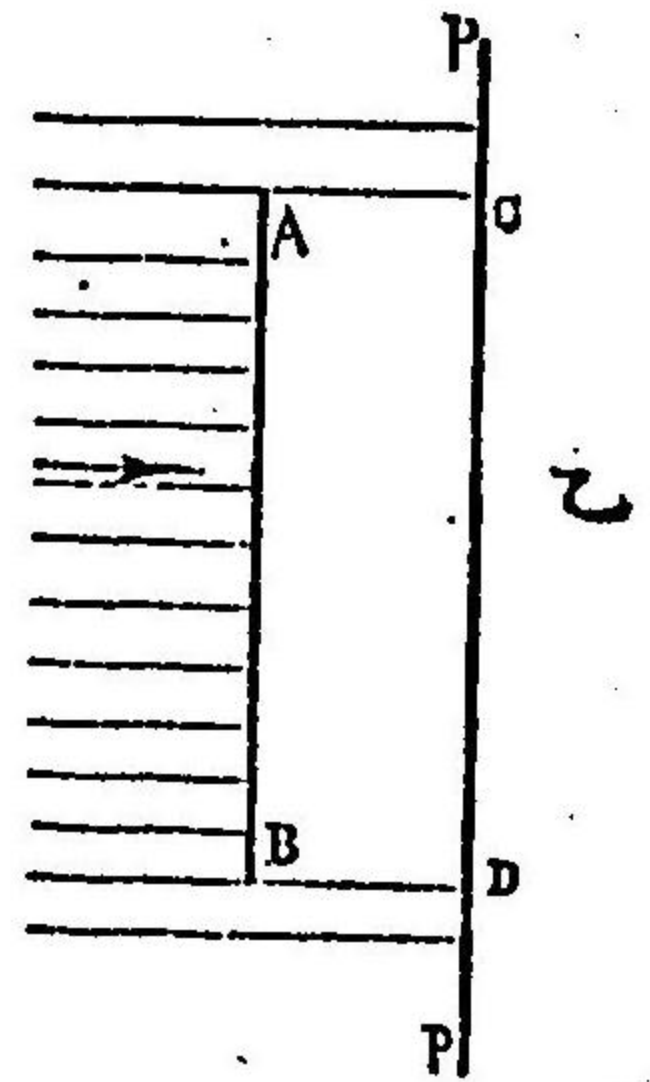
第四版

○第一圖ハ本箱ノ正面ヲ表ハシタル圖ニシテ、之ヲ其正面¹
 圖ト云フ、今左ニ實體ヲ此ノ如ク描寫スル方法ヲ説カン
 ○燭火ト壁トノ間ニ物体ヲ置ケハ其影象ヲ壁面上ニ投出
 スベシ、然レモ其影象ニハ燭火、物体及ビ壁面等ノ位置ニ關
 シテ大、小ノ差ヲ生ズルコト常ニ目撃スル處ナリ、今若シ其燭

(2)Projection. (1)Front elevation.

火ニ易フルニ一ノ光線ヲ以テシ、其方向ハ燭火ノ如ク一小
 點ヨリ四方ニ發射スルモノニ非ズシテ一方ヨリ水平ニ平
 行シ照射スルモノトセバ、之ガ爲メニ壁面ニ投出スル物影
 ハ又燭火ニ於ケルガ如ク位置ノ關係ニヨリテ大、小ノ差ヲ
 生ズルコト勿ルベシ、此ノ如キ想像ノ光線ヲ設ケ、之ガ爲メニ
 壁ノ如ク直立シタル平面上ヘ投出スル物影ニ則トリテ物
 体ヲ寫シタルモノヲ投影圖ト稱ス、即チ前ノ本箱ハ此方法
 ニヨリテ描キタルモノニシテ其側面及ビ頂キヲ現ハサザ
 ル理ハ次説ヲ以テ明了ナルベシ、即チ乙圖ニ於テPPナル縦
 線ヲ壁面トシ、平行水平線ハ光線ヲ代表シタルモノトシ、A
 B 線ハ壁面ニ平行シタル物体トスレバ、其影ハA C、B D ナ
 ル平行線ノ壁ニ達シタルC D ノ如ク現ハルベシ之ニヨリ

テ物影ノ長サト實體トハ相等シキヲ知ルベシ、サテ其A
B線ヲ壁面ニ直角ナラシムルヲ丙圖ノ如クセバ其影ハ只
一點ヲ表スルヲ知ルベシ、即チ直角ヲナスルハ其長サ全



ク現ハレザルナリ、此理ヲ推セバ平面
形ニアリテモ其面壁ニ平行スルルハ
其實形ヲ表ハシ、直角ヲナスルハ全ク
其幅ヲ表ハサザルヲ知ルベシ、而シテ
本箱ノ正面ハ壁ニ平行シタルモノニ
シテ此際側面及ビ頂キハ壁面ニ直角
ヲナスガ故ニ其投影圖ハ第一圖ノ如
ク畫クベキナリ、而シテ之ヲ正面圖ト稱
スルハ其側面ニ對シタル名稱ナレバ

(3)Side elevation.

若シ其本箱ヲ轉置シテ側面ヲ畫キタルルハ之ヲ側面圖ト
云フナリ、而シテ此本箱ニ於テハ其側面ヲ壁ニ平行セシムル
ルハ正面及ビ頂キハ壁ニ直角ヲナスガ故ニ此兩面ハ表ハ
レズシテ側面圖ハ單ニ其側面ナル眞形ヲ表ハスノミナリ、
今前説ニヨリテ此本箱ノ側面圖ヲ畫ケ
○前説ニ於テ壁面ニ平行スル直線ハ其實長ノ投影圖ニ表
ハルルヲ示シタリ、之唯縦、横線ニ限ルニ非ズ、斜線ニテモ
曲線ニテモ平行スルルハ其實物ノ状態ガ表ルモノナリ、又
方形ニテモ圓形ニテモ其面壁面ニ直角ヲナスルハ(其面水
平ニアリテモ又平地ニハ直立シ或ハ傾ケルルモ)投影圖ニ
其幅ノ表ハルルヲナキ理由ハ前例ニヨリテ推知セラルベ
シ

○第二圖ハ花瓶ノ投影圖ナリ、而シテ其頂ナル面ト底面トハ
 圓形ニシテ壁面ニ直角ヲ成シタルモノナリ、故ニ其面ノ形
 狀ハ表ハレズシテ單ニ其圓徑ニ等シキ一直線ヲ呈ス、又其
 花瓶ノ側ナル曲線及ビ耳ノ全体モ壁面ニ平行シタルモノ
 ナレバ其形狀ハ實物ト異ナルコトナキナリ、次ニハ前例ヲ參
 考シテ水注、土瓶等ヲ畫キ試ムベシ

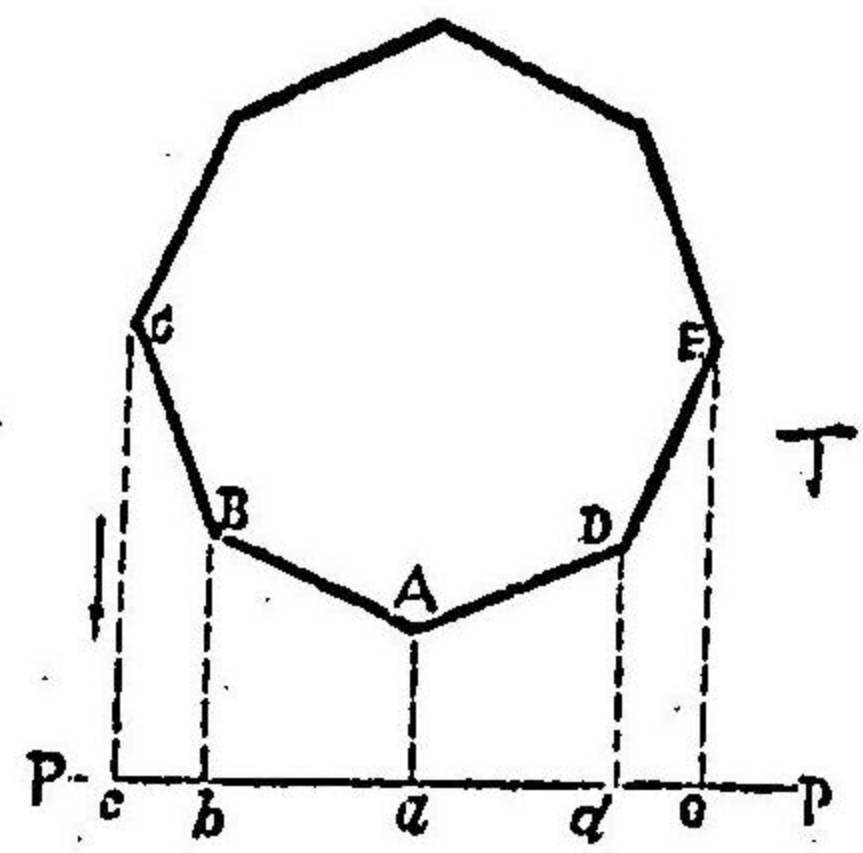
第五版

○第一圖ハ栓抜ノ正面圖ヲ示ス、輪郭圖ニ於テ螺線狀ヲ表
 ハス畫法ヲ主トシテ舉ケタルナリ

○第二圖ハ水香ノ正面圖ヲ示ス、今共上方ヨリ平行シテ照
 射スル光線アリトセバ平地上ニ其影ヲ投出シ、其形狀ハ頂
 ナル圓形ト等シカルベシ、是亦一個ノ投影圖ニシテ⁴平面圖

(4)Plan.

ト稱ス、物ノ全体ヲ表ハス爲メニ此圖ヲ要スル場合アリ、サ
 テ此水香ノ正面圖ニ於テ更ニ注意ヲ要スル條項アリ、之其
 體ヲ圍繞スル處ノ裝飾ノ紋ナリ、此紋ハ相等シキ雜線形八
 個ニテ成ル故ニ其面ノ幅ハ皆相等シキモノナレバ正面圖
 ニ於テハ中央ニアルモノ左、右ノ輪郭ニ接シタルモノヨリ
 モ廣シ、今此差ヲ生ズル理由ヲ説明セン、丁圖ノ正八角形ハ



正八角柱ノ平地ニ直立シタルトノ平面圖
 トレ、PP線ヲ壁面ノ平面圖トス、サテ其正八
 角形ノ諸角ヨリ引キタル鉛直線(光線)ヲ代
 表シタルモノ、PP線ニ會シタル點ニヨリテ
 八角形ノ邊壁面ニ對スル角度ノ低キモノ
 ハ高キモノヨリモ幅廣ク表ハレタルコトヲ見ルベシ、サレバ

等シキ幅ヲ有スル平面形ニアリテモ其面ノ壁面ニ對スル
 角度ニヨリテ各差ヲ生ズルナリ、即チ平行スルトハ最も廣
 ク(即チ全形)角度愈高ケレバ愈狹ミテ表ハレ、遂ニ直角ヲナ
 スニ至リテ全ク其幅ノ表ハレザルコトヲ知ルベシ、前説ヲ參
 考シテ八角形ノいんき壺又ハ紋ヲ彫刻シタル圓体ノ器具
 類ヲ畫キ試ムベシ

第六版

○らんぶノ正面圖ヲ示ス、其縦線ハ左、右ノ諸部分ヲノ對等
 ナラセムルガ爲メノ標準トシテ肝要ナルモノナリ、又らん
 ぶ全体ノ中ニハ正面圖ニ於テ其實形ノ表ハルル部分アリ、
 又全ク表ハレザル部分モアリ、又其實形ノ幅ヨリモ多狹少
 ミテ表ハレ、且ツ其度ニ多少ノ差ヲ生ズベキ部分モアリ、是

等ハ已ニ説示セタル畫法ヲ詳ラカニ參考シ、且ツ陰、日向
 ノ線ニ注意シテ精密ニ臨畫スベシ

正誤 附圖第三版ハ四版第四版ハ三版ノ誤ナリ

版權登錄

明治廿二年四月十八日出版

定價六錢

版權所有

著述者

福井縣士族 平瀨作五郎
東京府下本郷區 西片町十番地

發行者

福井縣平民 柳原新一郎
東京府神田區 裏神保町一番地

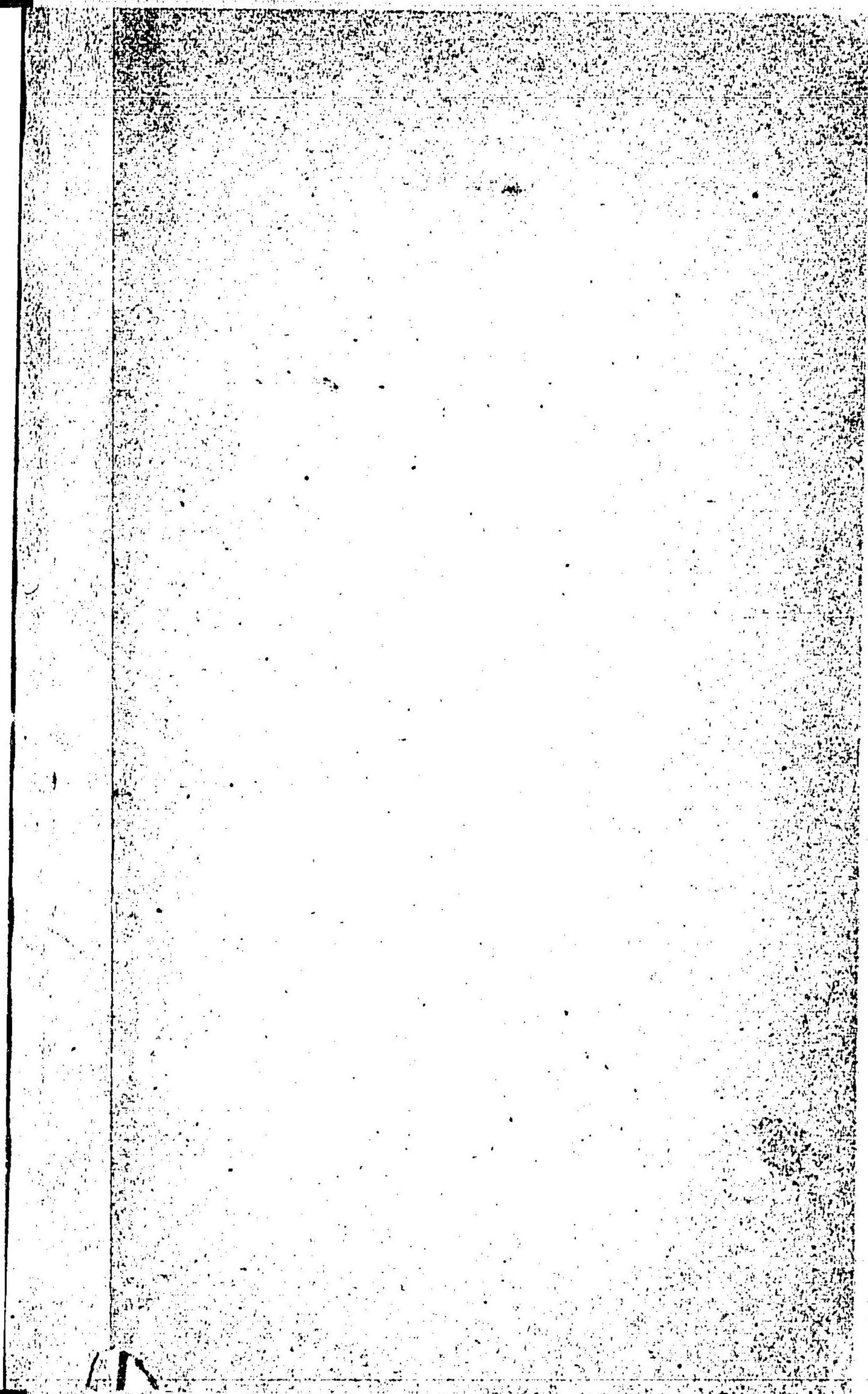
印刷者

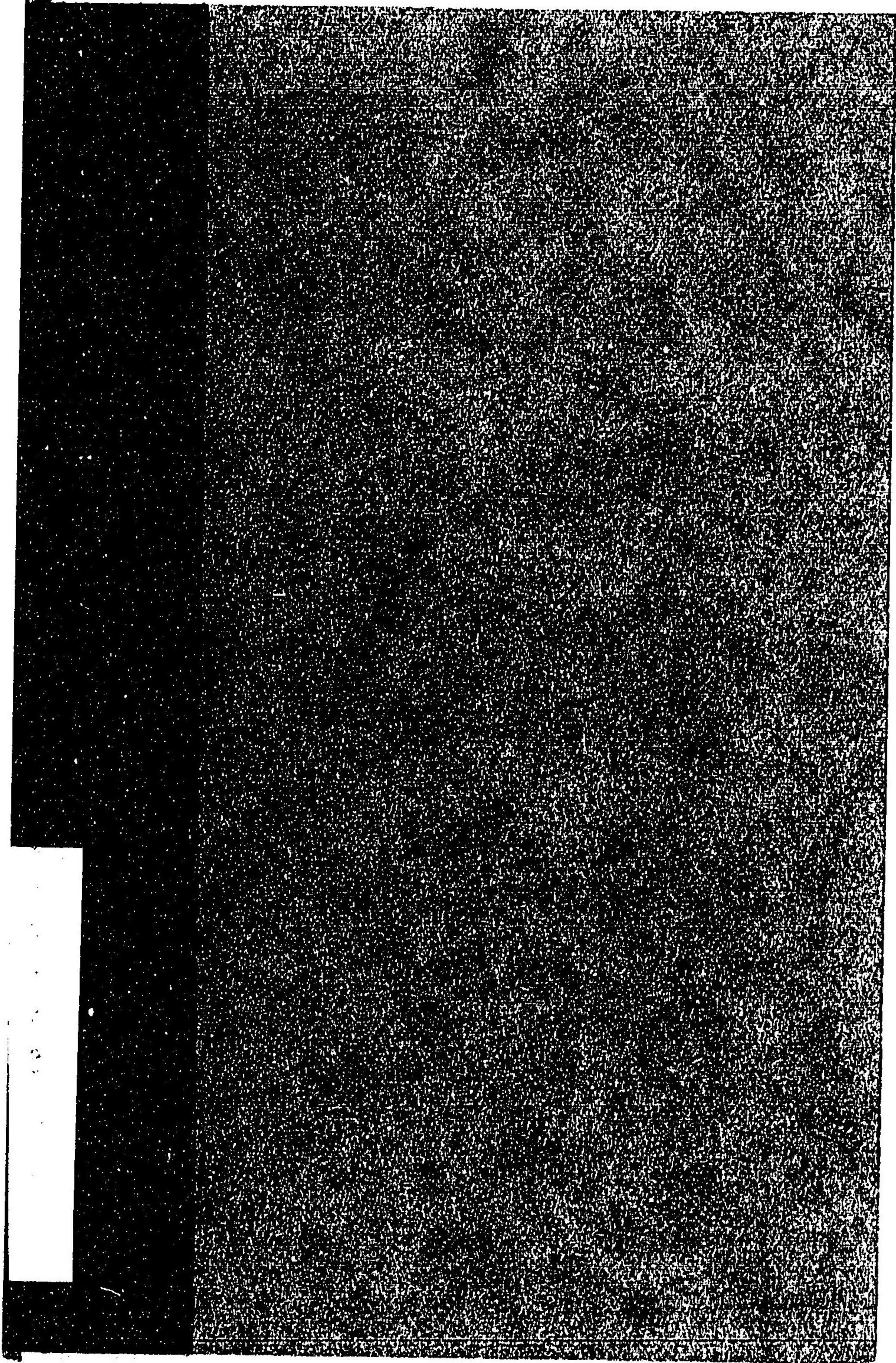
熊田宜遜
東京府神田區松山下町 十三番地熊田活版所

發兌書肆

敬業社

東京神田區裏神保町一番地





特 5 1

331

初学画本

1

国立国会図書館

069998-000-9

特 5 1 - 3 3 1

初学画本 第1

平瀬 作五郎 / 著

M 2 2

CEC-0929

